

犬山市の 土産物・特産品・工芸品



犬山焼

約300年の歴史を持つ犬山焼は、犬山城主・成瀬氏のお庭焼として発展した。色鮮やかな中国風の絵付けが特徴。



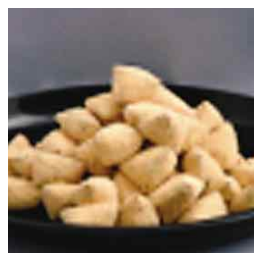
桃

現天皇陛下が皇太子時代に朝日地区の桃が献上された。犬山市では昭和初期頃から生産が始まり、主な品種は日川白鳳、白鳳、愛知白桃の3種類。



鮎の魚田(ぎょでん)

犬山といえば鵜飼い、鵜飼いといえば鮎。魚田とは田楽(でんがく)のことで、鮎に赤味噌をつけて焼いたもの。塩焼きとは違った香ばしい味を楽しむことができる。



げんこつ

きなこの香ばしさ、砂糖とあめの甘さが溶け合った素朴な味。犬山城主が家臣に陣中食としてふるまったのが、「げんこつ」の始まりと言われている。きな粉はたんぱく質が特に豊富に含まれ、また、悪玉コレステロールを減らすといわれている。

小牧市の 土産物・特産品・工芸品



えび芋

外堀・小針地区で生産されている「えび芋」は、里芋よりも甘味とコクがあり、煮ると粘りが出てとてもおいしい芋で、料亭で使われることが多い野菜。



名古屋コーチン

名古屋コーチンは小牧が誕生地。尾張藩士の海部壮平が、明治6年に現在の小牧市池之内で養鶏場をはじめ、バフコーチンと地鶏を交配させた、新品種「名古屋コーチン」をつくり出した。



桃

「桃花台ニュータウン」など、桃にちなんだ名前も多い小牧市は桃の名産地。特に全国にも名高い「しのおかの桃」は逸品として知られている。



ぶどう

東部地区の開拓とともに始まったブドウ栽培は、米作に適さない水はけの良い土壌であったことから発展した。